

東洋新薬、大麦若葉末で特許取得 肌の保湿等

東洋新薬(03・3238・0054)は16日、大麦若葉末を経口摂取することによる「肌の保湿作用やシワ・タルミまたはハリ改善作用、皮膚のクすみ改善作用」を見出し、特許を取得したと発表した。

同社では、肌荒れ症状を有する35〜55歳の女性18人を対象に、大麦若葉末を配合した食品、またはプラセボ食品をそれぞれ8週間摂取させる二重盲検並行群間試験を実施。保湿効果、皮膚のシワ・タルミ・ハリの改善作用、皮膚のクすみ改善作用を確認、このほど特許を取得したという。

わだまんサイエンス、「金胡麻マイクロパウダー」上市

わだまんサイエンス(075・222・7318)は、「金胡麻マイクロパウダー」のサンプルワークをスタートする。

同原料は、独自焙煎した金胡麻(トルコ産)を60メッシュ90%パス(一般黒スリゴマは同社調べで10〜42メッシュに分布)で微粉砕したもの。胡麻の香りと風味をアピールし、胡麻粉末飲料、ふりかけ、生菓子、製菓など、一般食品分野への提案を推し進めていく。

創業明治16年の胡麻司・和田萬のグループ企業である同社では、「リグナンリッチ黒胡麻」「発酵胡麻」「国産胡麻若葉末」「有機胡麻」をはじめとした各種ゴマ原料を取り揃える。

セテイ、20種プレミックス乳酸菌に便通改善作用

セテイ(03・5510・2658)は、生きた乳酸菌20種類を組み合わせたプロバイオティクス「乳酸菌20種プレミックス」について、新たに便通改善作用が確認できたと発表した。

研究は、便秘傾向にある20〜60代の女性109人を対象にしたモニター試験で、「乳酸菌プレミックス20種」を1日0.5g(乳酸菌数50億個)、2週間にわたり摂取してもらい、摂取前後の状況をアンケートによって調査した。

試験の結果、排便回数が週3〜4回から5〜6回に改善。便秘症状を測る日本語版便秘尺度(CAS)では、摂取1週間後から便秘が改善されたことを確認した。さらに、便性状や排便時の腹痛、においも改善された。このほか、便秘でよくみられる不定愁訴も減少し、改善傾向がみられた。

同社では「これまで体感として便通改善の傾向があることはわかっていたが、データとして確認できたことが大きい」とし、今後さらなる原料の拡販を目指す。

ファイブワン、じゃばら・乳酸菌配合サプリ

ファイブワン(073・448・5040)は22日、「働くじゃばら+お米由来の乳酸菌K・2」(90粒、税別3800円)を発売する。柑橘じゃばらに含まれるナリルチンと乳酸菌K・2を同時に摂取できるサプリとして展開していく。